

# 災ボラぐんま 2022

災害ボランティア情報を分かりやすくお届けします！

## 報告

### 令和3年度 群馬県危機管理フェアに参加しました！

群馬県が毎年開催している「群馬県危機管理フェア」に参加しました。

令和3年度はポスター展と群馬県公式 YouTube チャンネル「tsulunos」での動画配信が行われました。

#### ● ポスター展

- 日時：令和4年1月14日(金)～1月17日(月)
- 場所：群馬県庁1階県民ホール北側

- ・令和元年台風19号の活動の様子
  - ・防災訓練の様子
- を紹介しました！



災害ボランティアぐんまは、災害時にボランティア活動をするよ。  
災害時に備えて研修会や防災訓練にも参加しているから、初心者の人でも気軽に入会してね。  
いっしょに災害ボランティアをやってみよう。

Pepper 君に紹介してもらいました！



#### ● 動画配信

##### ① 災害ボランティア講演会

「災害ボランティアの固定観念を覆す！誰もができる災害ボランティア コロナ禍の活動から見たこと」

- ・講師：災害NGO 結 代表 前原 土武 氏

災害ボランティア活動＝体力が必要な作業というイメージがありませんか？  
自分の特性やスキルを活かした災害ボランティアが見つかるはず！



公開中！

##### ② 災害ボランティア啓発動画

「踏み出そう、災害ボランティアはじめての一步」

- ・話者：災害ボランティアぐんま 理事長 細金 義光 氏



災害ボランティア活動に興味がある方必見！  
心構えや準備について経験者からのメッセージをお伝えします。

新型コロナウイルス感染症の影響で防災訓練等は中止されましたが、研修で知識を深め、県内災害支援関係者との繋がりを構築しました。

群馬県と群馬県社会福祉協議会の共催で2日間にわたり群馬県市町村会館において行われた研修に災害ボランティアぐんまからも会員8名が参加しました。

## ●研修内容

### 1日目（11月15日（月））

#### ■講義「協働型災害VCスタッフ養成研修のねらいと今後の災害支援活動の展開について」

説明者：群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 災害福祉支援専門幹 鈴木 伸明 氏

#### ■講義「災害に関する基礎知識と災害支援活動について」

講師：Office SONOZAKI 園崎 秀治 氏

支援の三原則「被災者中心・地元主体・協働」を念頭において支援をすることが大切。

災害時に復旧・復興に欠かせない外部支援の力を活かすために平時から地域の受援力を高めることが必要。



#### ■グループワーク「ネットワークの構築と災害に関するイメージの共有」



自分が所属する組織（行政・社協・ボランティア団体等）は災害時に何ができるだろうか？



#### ■講義・ワーク「災害VCを理解する ～何のため、誰のための災害VCか～」

進行：日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏

災害VCは地域の「困った」が気軽に寄せられ、住民と各組織といっしょに解決方法を考える場所。ボランティアを派遣するためだけのものではなく、様々な立場の人々が協議できる場であるべき。

社協が中核となり、地域内外の機関・団体と協働・連携して、力を発揮することが必要！



■対話・講義「災害ボランティア活動を支援するネットワークと人・もの・資金」

ファシリテーター：Office SONOZAKI 園崎 秀治 氏

事例共有者：・公益社団法人日本青年会議所 関東地区群馬ブロック協議会

・群馬県生活協同組合連合会 ・群馬県共同募金会

○園崎氏

被災者に提供できる「支援の幅と可能性」を広げるために「協働」が必要。

○事例共有者

県内ではそれぞれの団体が、特性を活かして災害時に支援を行うために平時から活動に取り組んでいます！



2日目（12月1日（水））

■講義・ワーク「災害VCに求められるICTの活用について」

講師：Office SONOZAKI 園崎 秀治 氏



○情報発信

被災者の状況にあわせた支援をするためには、情報発信が必要。情報発信により、問い合わせやクレーム対応を劇的に減らすことができる。

○情報共有

災害支援ではいかに多くの関係者と必要情報を共有できるかが重要。ICTの活用で省力化と情報共有が可能に！

■対話・講義「災害ボランティアセンターを理解する

～専門ボランティア活動の視点から学ぶ何のため、誰のための災害VCか～」

ファシリテーター：日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

事例共有者：一般社団法人 OPEN JAPAN 肥田 浩 氏

災害ボランティアとは、住民が元の生活に戻るためのお手伝い。

平時からつながりを深め、地域力を向上させることが大切！



■研修全体の振り返り



## 紹介

# 安中市社会福祉協議会 「BCPに基づく社協初動対応訓練」

安中市社会福祉協議会が行った令和3年11月27日(土)「BCPに基づく社協初動対応訓練」に事務局が参加しました。

訓練では実際の災害時を想定し、安中市社協職員の安否確認から始まり、点検や利用者の安否確認等を行いました。

訓練後には、Feel Do 栗原 英文氏、菅原 清香氏による研修が行われ、社会福祉協議会の災害対策について学びました。

災害時においても市民が住み慣れた地域で安心して暮らせる日常を取り戻すために！

建物や備品を点検！

漏れ・重複がないように記録！



利用者に安否確認の電話中☎

## ●「災害ボランティアぐんま」会員募集！

「災害ボランティアぐんま」では、災害時の災害ボランティア活動や平時での災害ボランティアに関する研修・訓練等を行っています。

### <募集内容>

◇応募資格：災害ボランティアに意欲のある方

◇年会費：無料 ◇応募期間：随時

◇報酬：なし

※ボランティア活動保険に無料で加入できます。

### ◇応募方法

災害ボランティアぐんまホームページ

(<http://www12.wind.ne.jp/saijol/member/kojin.html>)

から申込用紙をダウンロードできます。

必要事項を記入の上、事務局まで郵送又はFAXでお送りください。

### ◇問合せ先

災害ボランティアぐんま事務局

(群馬県 生活こども部 県民活動支援・広聴課内)

TEL：027-226-2291

FAX：027-223-2944

### ◇令和3年度の主な活動実績

・災害ボランティアや災害ボランティアセンター

運営関連の研修

・県危機管理フェアにおける啓発活動 等

## ●災害ボランティア活動への助成事業

群馬県社会福祉協議会では、県内のボランティア団体等が災害支援のためボランティア活動を実施する際の活動経費を助成しています。

詳細は、同協議会(前橋市新前橋町 13-12、TEL：027-255-6111)にお問い合わせください。

### <事業の概要>

#### ◇助成対象団体

県内に活動拠点を置く5人以上のボランティアグループ等で、同協議会に事前登録を行った団体

#### ◇助成対象事業

被災地における生活支援活動(原則発災から3ヶ月以内の活動)

#### ◇助成対象経費【対象となる経費の例】

・ボランティア活動(以下、「活動」)に要する現地までの交通費、宿泊費

・活動に要する資機材等の購入または借入費用

・活動に要する消耗品等の購入費用

・バスやレンタカー等の車両の借り上げ、

ガソリン代金、有料道路通行料、駐車料金等

#### ◇助成額

1団体につき20万円を上限に助成

【発行元】災害ボランティアぐんま事務局(群馬県 生活こども部 県民活動支援・広聴課内)

〒371-8570 前橋市大手町 1-1-1

電話：027-226-2291 FAX：027-223-2944 Mail：npo@pref.gunma.lg.jp 【発行日】2022年3月